

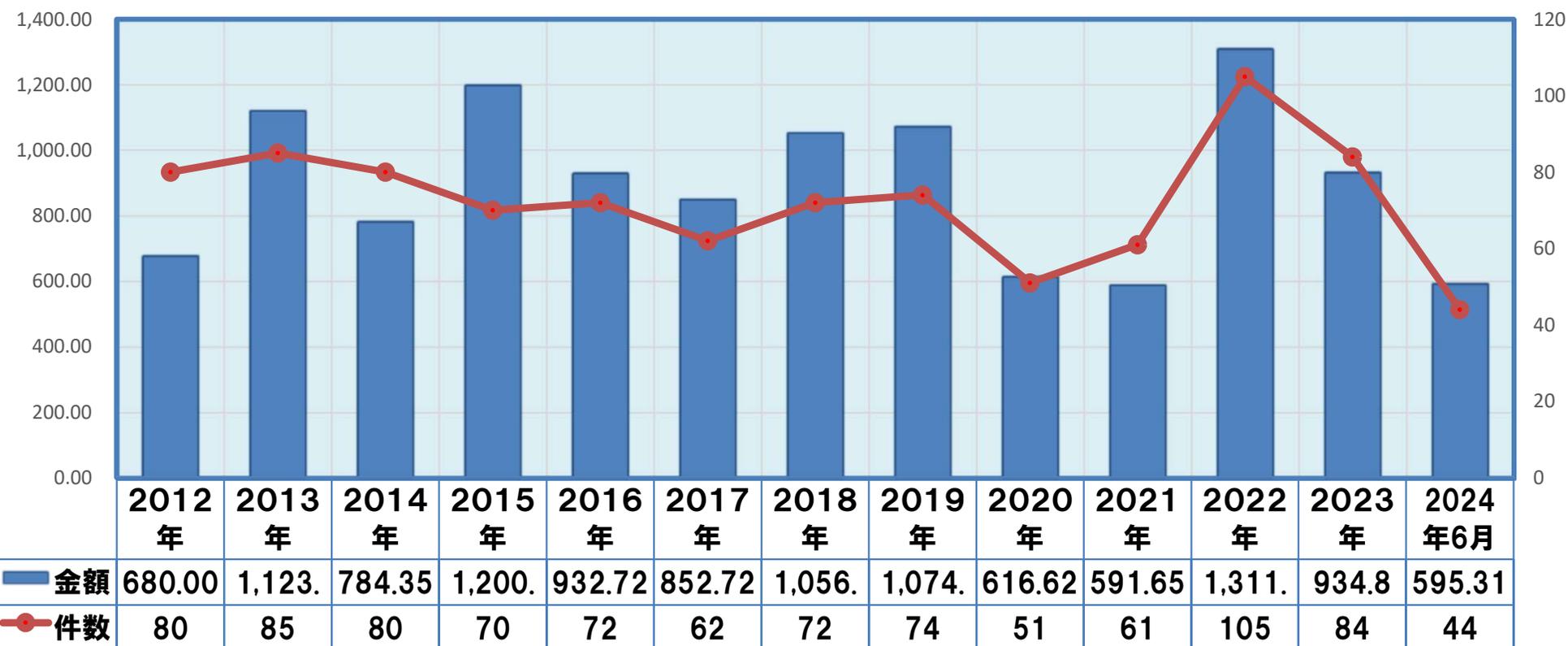
仙台圏の事業用・投資用不動産取引状況(2024年6月30日現在)

金額:595.31億円・件数:44件・平均金額13.5億円

金額:億円

事業用不動産取引状況

件数



仙台圏の事業用不動産取引状況（2024年6月現在）

単位:億円
【アセットブレインズ調査】

年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年6月
件数	80	85	80	70	72	62	72	74	51	61	105	84	44
金額	680	1123.3	784.3	1200.6	932.7	852.7	1056	1074.6	616.6	591.6	1311.7	934.8	595.31
平均価格	8.5	13.2	9.8	17.2	13.1	13.7	14.7	14.5	12	9.7	12.5	11.1	13.5

■取引は件数、金額とも前年より大幅に増加。調査以来の過去最高を記録

2024年6月現在: 件数44件、金額595.31億円 平均単価 13.5億円

2023年6月比較: 件数28件(+16件・157%) 金額324.3億円(+271.01億円・183%)

2022年6月比較: 件数32件(+12件・138%) 金額443.3億円(+152.01億円・134%)

■種類別前年対比内訳

「土地」の件数が大幅に増加: 22件で前年より10件と大幅に増加

「物流施設」の金額が増加: 207.9億円(4件) 首都圏からの取得

■買主別の内訳

・買主: 「J-REIT・ファンド会社」の取引金額が大幅に増加

■2024年半期(1月～6月)の特色

・首都圏の物件不足の影響から東京資本の購入が大幅に増加している。

・買主の属性が「不動産関係者」で占められており、一般法人の取得が減少している